

Sendai New Philharmonic Orchestra

42nd CONCERT

2005
10.29
Saturday

open 18:00
start 18:30

宮城県民会館大ホール
一般 ¥1,000 / 高校生以下 ¥500

仙台ニューフィルハーモニー
第42回定期演奏会

指揮
河地 良智
ファゴット独奏
小山 昭雄

曲目
ニコライ
喜歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲
パウエル
ファゴット協奏曲
チャイコフスキー
交響曲第5番 ホ短調 Op.64

Conductor
KAWACHI Yoshinori

Fagot Solo
KOYAMA Akio

Program
Nicolai, Otto (1810-1849)
"Die lustigen Weiber von Windsor" Overture
Pauer, Jiří (1919-)
Concerto for Fagot and Orchestra
Tchaikovsky, Pyotr Il'yich (1840-1893)
Symphony No.5 in E minor, Op.64

問合せ

仙台ニューフィルハーモニー事務局
Tel:022-234-0701 山路方
URL:<http://sendainewphil.client.jp/>

プレイガイド

宮城県民会館 (022-225-8641)
藤 崎 (022-261-5111)
十字屋 (022-266-4321)
(株)ヤマハミュージック東北仙台店 (022-227-8513)
カワイミュージックショップ仙台 (022-221-4251)
(株)三立仙台本店 (022-265-6211)

主催

仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団

後援

宮城県・仙台市・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・(財)宮城県文化振興財団・(財)仙台市市民文化事業団・河北新報社・朝日新聞仙台支局・毎日新聞仙台支局
読売新聞東北総局・産経新聞東北総局・仙台リビング新聞社・NHK仙台放送局・TBC東北放送・ヤマキテレビ・ICB東日本放送・Date fm
せんだいタウン情報 S-style

PROFILE



指揮 河地 良智

Conductor KAWACHI Yoshinori

桐朋学園大学指揮科に学び、齋藤秀雄、秋山和慶氏に師事。

1973年第3回民音指揮コンクールで奨励賞受賞。1975年群響正指揮者に就任。

その後も都響、東響、東フィル、新日フィル等主要オーケストラの指揮台に立つ。東京室内歌劇場、ステファノオペラ劇場、二期会等で「ラ・ボエーム」「フィガロの結婚」等多くのオペラを指揮。1983年より文化庁派遣員としてドイツ・バイエルン国立歌劇場でW・サヴァリッシュ氏、ミラノ・スカラ座でG・パタネ氏、西独バイロイト祝祭歌劇場でW・ワーグナー氏に、また、ブラハ国立歌劇場でZ・コシュラー氏等について積極的に歌劇場での経験を積む。その後は、モーツァルトのピアノ協奏曲全曲演奏を7年かけ完遂し、注目を浴びる。また、日・米・伊共同国際ワークショップにおいて、「蝶々夫人」のプレジャ版を初演し、二期会渡欧旅行公演同行の際には、ベオグラード・フィル、ハンガリー国立歌劇場管弦楽団を指揮する。

1990年には、慶応大学ワグネル・ソサイエティ・オーケストラ渡欧旅行でマーラー交響曲第5番を指揮し、ターゲウシュピーゲル紙で絶賛された。1991年より音楽之友社の企画する「モーツァルト・オペラ全曲シリーズ」の音楽監督として数多くのオペラ、山田耕柞生誕110年記念コンサートや渋谷ビーム「魔笛」公演等を指揮。東芝フィルハーモニー管弦楽団アメリカ演奏旅行で、アーバン、ナッシュビル、ニューヨーク等各地で公演を行う。特に、カーネギーホールで行われた演奏会では日米各紙で取り上げられ注目を浴びる。また、札幌旭山音楽祭の音楽監督に就任。さらに「すみだトリフォニーホール」のオープニング公演として「カルメン」、5周年公演として「メリーウィドー」を上演し、墨田オペラの音楽監督として成功させた。新国立劇場の「魔笛」公演では、同劇場合唱団の指揮を務める。近年においては日本ユングオーケストラを結成、北京での日中合同オーケストラ公演や日本高校選抜オーケストラ・ウィーン公演を指揮、また、文化庁の日本・ロシア交流年には、モスクワ・サンクトペテルブルグに於いて東京トロイカ合唱団の公演を指揮するなど、音楽の国際交流にも力を入れている。

現在、洗足学園音楽大学教授、同大学院音楽研究科長、また東京芸術大学講師、二期会オペラ研究所講師として後進の指導にも当たっている。

ファゴット独奏 小山 昭雄

Fagot Solo KOYAMA Akio

現在ドイツ・トロッシンゲン国立音楽大学最高位教授、小澤征爾サイトウ・キネン・オーケストラの首席ファゴット奏者、洗足学園大学音楽学部客員教授。ソリスト、室内楽奏者、オーケストラのソロファゴット奏者として世界の主要音楽祭に招聘されている。

洗足学園大学音楽学部を経て、ドイツ・デトモルト国立音楽大学を81年に首席で卒業する。79年、イタリア・アンコナ国際音楽コンクール入賞、81年ブラハの春国際音楽コンクール特別名誉賞を受賞。86年～95年までシュツットガルト国立歌劇場オーケストラ首席ファゴット奏者。今までに北ドイツ放送響、バンベルク響、バイエルン国立歌劇場オーケストラ、ミュンヘンフィル、の主要オケでソロファゴット奏者として共演。欧米を始め、日本で協奏曲のソリスト、室内楽奏者としてもロンドン、パリ、ニューヨーク、ウィーン、ベルリン、東京、大阪他世界各地で活躍、88年より数回の天皇皇后両陛下、皇太子殿下妃殿下の御前演奏を行う。数多くのソロ、室内楽でのCD録音、又海外テレビ放送、NHK芸術劇場、筑紫哲也のニュース23他にも出演。国際音楽コンクールの審査員としても世界の重要なポストに位置する。大竹尚之、西川隆、霧生吉秀、A・ヘニゲ、H・ユンク各氏に師事。現在ミュンヘン在住。



仙台ニューフィルハーモニー

1981年9月、約20名の弦楽器奏者で創立された仙台ニューフィルハーモニーも24年目を迎えて着実に力をつけ、現団員約90名の成熟しつつあるオーケストラとして益々発展を続けている。

創立当時より、大きな目標の一つに「自力演奏を目指す」ということがあり、そのために、団員一人一人の努力は勿論、演奏指導、運営に携わってきた役員・係も含め、種々な困難に対処してきた。

現在では仙台市内はもとより、宮城県内からも力のある奏者の参加を求めながら編成の充実を目指した結果、ほぼ目標に近い団員数に達しつつある。また、ここ14～15年は優秀な客演指揮者の指導を受ける機会にも恵まれ、音楽への取り組み方も向上し、高い評価を受けるまでになった。



仙台ニューフィルハーモニーでは、現在、団員を募集しております。募集パートは、Violin、Viola、Cello、Trumpetです。問合せは以下まで。

- 仙台ニューフィルハーモニー事務局(山路方:022-234-0701)
- 仙台ニューフィルハーモニー HP(<http://sendainewphil.client.jp/>)